



①フィッターの石井彰太氏 ②武井幸喜CTO



Blue Gold Golf Studio

〒118-0014
東京都西東京市芝久保町5丁目8-2
田無ファミリーランドTIMEZIPS24内
☎042-610-2272

OKONGOLF

TYPE-D

OKONGOLF『TYPE-D』がボールフィッティングで大活躍

東京都の西東京市。新青梅街道には、練習場が3か所、大型ゴルフ量販店も3店が軒を連ね激戦区だ。そのひとつ、田無ファミリーランドTIMEZIPS24内で営業するのが工房兼ゴルフスタジオの「ブルーゴールドゴルフスタジオ」。実はそのブルーゴールドでは、充実した練習モード、スイング分析、クラブ分析機能を搭載したOKONGOLFシミュレーターの『TYPE-D』を使って、クラブフィッティングはもとより、ボールフィッティングまで行っている。何故、シミュレーターでボールフィッティングを行っているのか？

ゴルフ好きが疑問視したレンジボールでのフィッティング

ブルーゴールドゴルフがオープンしたのは、2023年9月末。現場を任されているのが武井幸喜CTOだが、フィッティングに弾道計測器ではなく、シミュレーターOKONGOLFの『TYPE-D』を選んだ理由を教えてください。

「当店のオーナーが大のゴルフ好きなんですけど、インドアでのフィッティングで、多くの場合レンジボールを使用しているのを疑問視していましたね。フィッティングはコースボールだろうと。様々な機械を見ましたが、レンジボールとコースボール

のどちらにも印をつけて利用できずにスピン量が正確なのがOKONGOLFの『TYPE-D』でした」
本格的なボールフィッティングをサービス化するために『TYPE-D』を選んだのだとか。

「『TYPE-D』には、弾道の補正ランクがビギナー、アマチュア、プロ、ツアープロとあり、ツアープロに設定すれば、ほとんど補正されずリアルな数値が算出されます。これでゴルフ1個々に最適なボールを選ばサポートをしています」

このボールフィッティングはシミュレーターメーカー『OKONGOLF』や日本代理店のデオントキーヨーが提案したものではない。何故、フィッターは『TYPE-D』でボールフィッティングを行っているのか？

『TYPE-D』でも評価可能なスピン量などの数値に注目

フィッターの石井彰太氏によると、「フィッティング全般でいえば、『TYPE-D』は上部からハイスピードカメラでボールやクラブを撮影しており、ショット直後にはインパクト前後のフェースの向きが映像で見えます。クラブでもボールでもフィッティング時にゴルフアーに「見える」ということが第一です」
そして最も重要なのは、

「『TYPE-D』での弾道計測はスピン量やランディングアングルがボールメーカーの公表値に近いんです。それが『TYPE-D』でボールフィッティングを行っている最大の理由でもあります」

同店では『TYPE-D』で正確な弾道計測を行うために、印を付けたレンジボールと、売れ筋のコースボール5社11モデルに印をつけて用意している。それで何が分かるのだろうか？

「レンジボールはコアが硬く、コースボールと比較してインパクト時のボールの変形が少ない。そうすると接触時間が短く、スピン量が少なくなります。同じ理由でレンジボールはフェース面で滑りやすく、スピン軸が傾きやすい。練習場では飛球が曲がるけど、コースにいったら曲がらないゴルフアーがいるのは、そのためですね」

これだけのこと、弾道計測器ではなく、シミュレーターで判断できるのだ。

練習場でもラウンドでもない『TYPE-D』で新ビジネス

実は、ブルーゴールドゴルフでの『TYPE-D』の活用はボールフィッティングだけではなく、クラブのフィッティングも行っている。これ、シャフトのしなりが可視化でき

るからだという。

「先にも話しましたが、インパクト前後のフェースの向きが動画で分かる。さらに、『TYPE-D』ならゴルフアーが見ても、シャフトのしなりの度合いが分かる。それがクラブフィッティングでも『TYPE-D』を使う理由です」

自分が使っているボールがあっているのか？ その疑問はヘッドとの相性も勘案しなければならぬが、「当店の試打シャフトのスリーブはユニバーサル版を使っています。ゴルフアーが使用しているヘッドで試打ができるので、好評です」

と、クラブフィッティング、ボールフィッティングでOKONGOLFの『TYPE-D』を最大限に活用している。デオントキーヨーの松本光平営業部長は、

「実に驚いているんです。フィッティングに『OKONGOLF』のシミュレーターを使用しているのは聞いたことがありません。ただ、今後はブルーゴールドゴルフさんのケリスを導入店へ案内したい。それによって、新たなビジネスが生まれる可能性高まりますから」

インドアを導入されたシミュレーターは、練習する、ラウンドするだけではない。『OKONGOLF』のような活用が、今後の新たなビジネスを生むのだろう。

NEW! シミュレーター機器